



↑ 高校生が新グルメを提供し説明する様子

6/
12

雄武高校特産品開発プロジェクト【試食祭】 新グルメお披露目

この日、雄武高校特産品プロジェクトによる試食祭が、道の駅おうむの多目的ホールで開催されました。提供されたのは、韃靼そば粉を使用した韃靼ラーメンと、ホタテの風味を楽しめるホタテせんべいで、どちらも高校生がアイデアを出し合い、雄武町の特産品を活かして開発した新しいグルメです。会場には、町内外から多くの方が訪れ、高校生の力作を堪能しました。今後、韃靼ラーメンとホタテせんべいは、町内のお祭りなどで販売される予定です。

6/
13・18

ふるさと学習 郷土愛を育む

雄武中学校1年生が、雄武町の歴史や文化を学ぶ「ふるさと調査」が実施されました。13日には、佐々木幸博氏を講師に迎え、雄武町の成り立ちについての講演が行われ、雄武町の開拓の歴史について、生徒たちは熱心に話を聴いていました。18日には、生徒たちが農林水産業・雄武火災（歴史）の中から興味を持ったテーマを選択し、各分野の知識に長けた町民4名から話を聴きました。授業を通して、生徒たちは郷土愛を深め、調査活動への意欲を高めていました。



↑ 授業の様子

6/
14

紋別地区消防組合雄武消防団第三分団詰所開所式 町民の安全を守る

この日、老朽化に伴い、沢木つどい前から教員住宅横に新築・移転された紋別地区消防組合雄武消防団第三分団詰所の開所式が行われました。式には消防団員や関係者が41名出席し、詰所の開所を祝いました。雄武消防団団長の佐藤祐司氏は「このたびの第三分団詰所新築にあたり、関係者各位への深い感謝を申し上げます。今後も一層の訓練を重ね、郷土愛の精神をもって、町民の皆さまの安全を守る拠点として本詰所を活用してまいります」と感謝と決意を述べました。



↑ 記念撮影の様子

6/
15

雄武町防犯協会パークゴルフ大会 交流と深める防犯意識

宮の森公園パークゴルフ場で、雄武町防犯協会パークゴルフ大会が開催され、町民40名が参加しプレーを楽しみました。防犯協会会長の今哲氏は「皆さんで情報交換することで、犯罪を未然に防ぐ抑止力がありますので、今日は交流を深めてください」と挨拶。参加者は、それぞれがベストスコアを目指して競い合い、各所で好プレーも繰り広げられていました。



↑ パークゴルフ大会の様子



↑ (左から) 横田明憲代表取締役社長、高橋町長

5/
28

地域貢献活動に対する感謝状の贈呈 来庁者の利便性に貢献

この日、役場庁舎において感謝状贈呈式を行いました。5月15日、札幌市の日綱道路整備㈱が、地域貢献活動として役場庁舎駐車場の区画線補修と周辺の清掃活動を実施。同社は、北海道が発注した「美深雄武線外純単交安工事（区画線）（道債）」の受注者で、縁があって今回の活動が実現。横田明憲代表取締役社長は「利用者の方のお役に立てればという思いです」と話し、高橋町長は「駐車場が綺麗になり大変感謝しています」と謝意を伝えました。

5/
31

「ホタテ」「しょうゆ」「乳製品」無料配布 旬の恵みをご家庭に

今年も雄武漁業協同組合主催により、ホタテの無料配布が実施されました。配布当日は、早朝から漁協施設で、組合員や町職員などが袋詰めを行い、1世帯あたり4kgのホタテと昆布しょうゆが各自治会を通じて配布されました。さらに、北オホーツク農業協同組合から、ホタテと一緒に味わってもらおうと、バター2箱とスキムミルクも提供され、町民からは感謝と喜びの声が多く寄せられました。



↑ ホタテ等無料配布の様子

6/
1

かけっこ教室 ステップ・ジャンプ・ラン!

この日、スポーツセンターで雄武高校陸上競技部顧問の石田白文先生を講師に招いた「かけっこ教室」が開催され、町内の児童31名が参加しました。リズムに合わせて身体を動かしたり、フットワークを鍛えるラダーやジャベリックボールを使ったトレーニングを通して、身体の使い方や走り方のコツを学びました。講師のサポートとして雄武高校の陸上競技部員も11名参加しており、児童にフォームやコツを優しく教える姿が見られました。



↑ 高校生が児童に優しくフォームを指導する様子

6/
7

世代交流会 花を通じて心つながる

児童センターで、世代交流会が開かれ、長寿クラブ会員4名と児童28名が花植えを行いました。アスターをはじめとするさまざまな花が用意され、児童たちは長寿クラブ会員の手ほどきを受けながら、一生懸命に花を植えていきました。参加した児童の金王亜沙さんは「一緒に植えた花を大切に育てていきます。ありがとうございました」と感謝の言葉を伝え、世代を越えたふれあいの大切さを実感している様子でした。



↑ 花植えの様子